

---

## 第1章 事業の概要

---

# 第1章 事業の概要

## 1. 事業の名称

「観光土産品トレンド等調査・支援事業」

## 2. 事業の目的

近年、本県における入域観光客数は順調な推移を示しており、平成 25 年度は過去最高の約 658 万人を記録した。

その一方で、観光客一人当たりの県内消費額は減少傾向にあり、中でも「土産・買物費」については平成 24 年度観光統計実態調査において復帰後 2 番目に低い水準となっている。

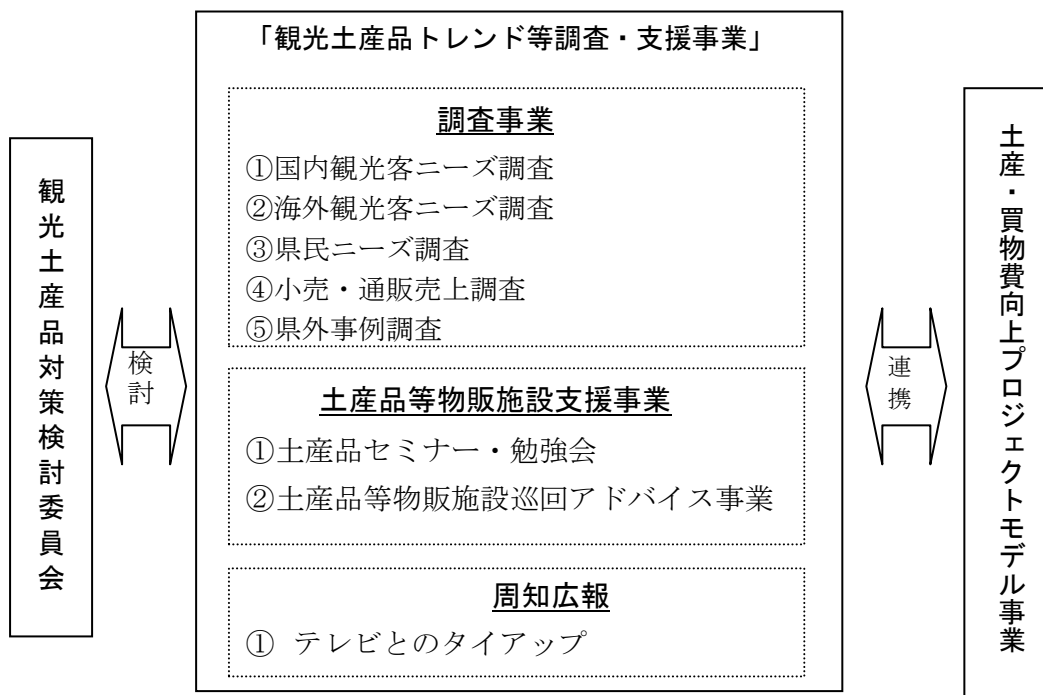
本事業はそのような「土産・買物費」の向上に向けた対策として、観光客のニーズや小売店等の現状等を把握するための多角的な調査とともに、セミナーや勉強会、巡回アドバイス支援などの現場への働きかけも同時に実施することで、土産・買物費の消費額の増加、ならびに土産品に対する満足度の向上を図ることを目的とする。

## 3. 実施期間

平成 26 年 6 月 16 日（月）～平成 27 年 3 月 20 日（金）

## 4. 事業全体の概要

全体の事業概要は下図のようになる。



## (1) 調査事業の概要

調査事業は、①国内観光客ニーズ調査、②海外観光客ニーズ調査、③県民ニーズ調査、④小売・通販売上調査、⑤県外事例調査の5つの調査を実施した。

### 1) 国内観光客ニーズ調査

#### 調査目的

国内観光客を対象に、沖縄の土産品に対する意識調査を行い、顧客ニーズを把握し分析・考察を行う。

#### 調査対象

国内観光客

#### 調査項目

この調査では、売れ筋商品を把握し、売れ筋商品がもっている特徴の共通点を把握することと、土産品を買わない人（あるいは土産品に対する満足度が低い人）からその理由を聞き出し、その共通する要素を浮き彫りにするため以下の調査項目を設定した。

- ・観光客属性（性別、年代、家族の年収、訪問回数等）
- ・購入した土産品の情報（購入場所、商品名、価格、製造者等）
- ・購入の目的
- ・購入した動機と満足度
- ・購入前の商品の認知度と認知経路・認知の時期
- ・購入しなかった理由
- ・土産品への不満・要望等

#### 調査期間

夏期調査：平成26年8月23日～31日

冬期調査：平成26年12月6日～14日

#### 調査方法

##### ①アンケート調査（面接法）

時間的余裕のある観光客に面接、ヒアリングする。

##### ②アンケート調査（郵送法）

時間的余裕のない観光客にはアンケート調査票を返信用封筒とともに手渡し、郵送にて回収した。

##### ③インターネット調査

沖縄旅行経験者を対象にインターネットによる調査を行った。

#### 調査場所

- ①那覇空港国内線搭乗待合フロア
- ②わしたショップ国際通り本店

③道の駅許田

④首里城公園

(冬期調査は那覇空港国内線待合ロビーのみで実施)

アンケート回収数

5,007 票 (有効回答)

調査方法	調査時期	回収数 (有効)
①アンケート調査 (面接法)	夏期	1, 6 5 7
	冬期	1, 6 3 0
②アンケート調査 (郵送法) 配布数 6, 200 (回収率 10.9%)	夏期	6 8 0
③インターネット調査		1, 0 4 0
合 計		5, 0 0 7

## 2) 海外観光客ニーズ調査

調査目的

海外観光客を対象に、沖縄の土産品に対する意識調査を行い、顧客ニーズを把握し分析・考察を行う。

調査対象

海外観光客

調査項目

この調査では、売れ筋商品を把握し、売れ筋商品がもっている特徴の共通点を把握することと、土産品を買わない人 (あるいは土産品に対する満足度が低い人) からその理由を聞き出し、その共通する要素を浮き彫りにするため以下の調査項目を設定した。

- ・観光客属性 (性別、年代、訪問回数等)
- ・購入した土産品の情報 (購入場所、商品名、価格、製造者等)
- ・購入の目的
- ・購入した動機と満足度
- ・購入前の商品の認知度と認知経路・認知の時期
- ・購入しなかった理由
- ・土産品への不満・要望等

調査期間

平成 26 年 8 月 23 日～31 日

調査方法

アンケート調査 (面接法)

時間的余裕のある観光客に面接、ヒアリングする。

#### 調査場所

- ①那覇空港国際線搭乗待合フロア
- ②沖縄アウトレットモール あしびなー

#### アンケート回収数

611 票（有効回答）

### 3) 県民ニーズ調査

#### 調査目的

この調査では、県民が私用や仕事で県外に行く際、手土産を購入する機会は少なくないということを抑え、県民の土産品に対するニーズ調査を実施し、その実態を明らかにする。

#### 調査対象

沖縄県民

#### 調査項目

この調査では、売れ筋商品を把握し、売れ筋商品がもっている特徴の共通点を把握することと、土産品を買わない人（あるいは土産品に対する満足度が低い人）からその理由を聞き出し、その共通する要素を浮き彫りにするため以下の調査項目を設定した。

- ・属性（居住市町村、性別、年代、職業）
- ・購入経験
- ・手土産を渡す相手
- ・購入した土産品の情報（購入場所、商品名、価格、製造者等）
- ・購入した動機と満足度
- ・購入しなかった理由
- ・土産品への不満・要望等

#### 調査期間

平成26年8月23日～8月31日（アンケート調査）

平成26年8月28日～8月30日（インターネット調査）

#### 調査方法

- ①アンケート調査（面接法）

県民へのヒアリング（国内観光客調査と同時に実施）

- ②インターネット調査

県民を対象にインターネットによる調査を行った。

#### 調査場所

那覇空港国内線搭乗待合フロア

アンケート回収数  
479 票（有効回答）

#### 4) 小売・通販売上調査

##### 調査目的

この調査では、土産小売店及び卸売事業者などの売れ筋商品や近年の土産品の動向などを調査し、分析・考察を行う。

##### 調査対象

土産小売店及び卸売事業者

##### 調査項目

この調査では、近年の売上状況、売れ筋商品の傾向、売れる理由、店舗の課題等を把握し、その共通する要素を浮き彫りにするため以下の調査項目を設定した。

- ・店舗、企業情報  
(所在地、創業年、代表者、営業種目、年商、URL、e-mail 等)
- ・取扱商品ジャンル
- ・近年の動向（売上状況、売れ筋商品の傾向等）
- ・売上上位 10 品目（売価、製造販売元、主な購買層、顧客の反応、売れる理由等）
- ・自主企画商品（P B）の有無、販売状況
- ・自店舗の課題、問題点
- ・セミナーや巡回アドバイス支援への関心度

##### 調査期間

平成 26 年 8 月 23 日～8 月 31 日

##### 調査方法

アンケート調査（郵送法）

調査票を郵送し、FAX にて回収する。

##### アンケート回収数

36 件（回収率 17.3%）  
(アンケート調査票郵送件数 208 件)

#### 5) 県外事例調査

##### 調査目的

県外の土産品の成功事例についてアンケート調査やヒアリング等を実施し、商品の開発から広報・販売までの一連の流れの検証を行うとともに、成功の要因となった事項等について分析・考察を行う。

##### 調査対象

土産品等の成功事例のある県外企業・機関

## 調査項目

この調査では、成功事例の商品コンセプト、商品開発の考え方、成功の要因等を把握し、その共通する要素を浮き彫りにするため以下の調査項目を設定した。

- ・企業情報（所在地、創業年、代表者、営業種目等）
- ・取扱商品ジャンル
- ・成功事例について（商品コンセプト、商品開発の考え方、販売方法と場所、成功の要因等）

## 調査期間

平成26年8月5日～8月9日

## 調査方法

ヒアリング調査（面接法）

## 調査場所

企業・機関名	所在地	事業内容
(株)中川政七商店	奈良県奈良市	観光土産品、工芸品等製造小売業
たねやグループ(株)たねや	滋賀県近江八幡市	和菓子、洋菓子製造販売
(株)山海堂	石川県加賀市	和菓子製造販売
金沢市「食のお土産プロジェクト」	石川県金沢市	地方自治体
富山県総合デザインセンター「越中富山 幸のこわけ」	富山県高岡市	富山県産品のデザイン支援

## 調査件数

5か所

## (2) 土産品店等物販施設支援事業の概要

### 1) セミナー・勉強会の開催

#### 目的

観光土産品の販売に係る人材の育成や販売店における販売力の向上を目指すことを目的に、土産品店等物販施設における課題への対策や、土産品に対する観光客のニーズ等の情報の提供などについて、専門家を招きセミナーを開催する。

#### 対象

土産品店等物販施設

#### 開催日時と開催場所

##### ① 本島北部地域

日時：平成26年10月20日（月）14：00～16：30

場所：沖縄県北部会館3階会議室（名護市）

##### ② 本島中南部地域

日時：平成26年10月21日（火）14：00～16：30

場所：那覇市ぶんかテンプス館 4階ホール（那覇市）

#### セミナー内容

- 情報提供「観光客の土産品に関するニーズについて」  
（観光客満足度調査、国内観光客及び海外観光客のアンケート調査の概要等）  
報告者：協同組合沖縄産業計画 主任研究員 福地武次
- セミナー「個性的な売場づくり&急増する海外観光客への接客術」  
テーマ1「個性的な売場をどうつくるか～売場演出」  
講師：㈱JR東日本ステーションリテイリング 営業推進部 長瀬 直孝  
テーマ2「急増する海外観光客へ販売店はどのように対応すべきか」  
講師：玉城 判（エネていーだ琉球株式会社 代表取締役）

#### 参加人数

本島北部地区：26人

本島中南部地区：130人

## 2) 土産品店等物販施設巡回アドバイス支援

### 目的

土産品店等物販施設における人材の育成や販売力の向上を目指すことを目的に、各種専門的知見を有する者が土産品店等物産施設を巡回し、物販施設等が抱える問題や課題の解決に向け、売場の改善や接客、情報発信等についてアドバイス支援を実施する。

### 対象

土産品店等物販施設

### 支援内容

- ・売場演出
- ・店員の接客
- ・外国人客への対応
- ・情報発信
- ・通信販売

### 支援期間

平成26年11月18日～平成27年2月27日

### 支援方法

申し込みのあった事業者事前に電話ヒアリングを実施し、課題等を把握したうえで実際に訪問しアドバイスをを行った。

### 支援件数

51件



### (3) 周知広報と事業間連携の概要

#### 1) テレビ番組とのタイアップ

##### 目的

年々減少傾向にある土産・買物費の現状や課題について、県内観光土産品関係者の理解を深め、自主的な取り組みを促すことを目的に、本事業の調査結果やセミナー・アドバイス等の支援、さらに「土産・買物費向上プロジェクトモデル事業」における新商品開発モデル事業の概要など、様々な情報を広く周知するため、テレビ番組とタイアップする。

##### タイアップしたテレビ番組

#### ① 琉球朝日放送報道番組「ニュースQ+」

##### 放送日時

1回目：平成26年9月11日（木） 18:41 から約10分間

2回目：平成26年9月19日（木） 18:40 から約10分間

3回目：平成26年10月7日（火） 18:40 から約10分間

#### ② 琉球放送テレビ番組「ウチナー紀聞」

##### 放送日時

平成27年2月22日（日） 11:00～11:30

##### 番組テーマ

「切り拓け！沖縄土産品の新時代」

### (4) 観光土産品対策検討委員会の概要

#### 1) 設置目的

県が実施する「平成26年度観光土産品トレンド等調査・支援事業」に関する業務を適正かつ円滑に推進することを目的に、有識者や専門家等で構成する「観光土産品対策検討委員会」を設置した。

#### 2) 開催概要

##### ○ 第1回委員会

日時：平成26年7月11日（金） 15:00～17:00

場所：沖縄産業支援センター3F 302会議室

##### ○ 第2回委員会

日時：平成26年11月25日（火） 15:00～17:00

場所：沖縄県庁8F 文化観光スポーツ部会議室

##### ○ 第3回委員会

日時：平成27年3月10日（火） 10:00～12:00

場所：沖縄県庁8F 文化観光スポーツ部会議室

### 3) 委員名簿

氏名	所属・役職
平敷 徹男	琉球大学名誉教授 ◎
村山 剛	沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策課長 ○
米村 明	公益財団法人 沖縄県産業振興公社 事務局長
白田 典子	有限会社良品工房 代表取締役
畠中 敏成	株式会社南西産業 代表取締役社長
セントローレント真紀	株式会社海邦商事 代表取締役 (沖縄県観光おみやげ品公正取引協議会副会長)
前原 正人	沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課長
古堅 勝也	沖縄県労働商工部 ものづくり振興課長

◎委員長 ○副委員長

### (5) 提言の概要

#### リピーターに応える商品開発

今回の調査によって沖縄観光のリピーターが増える程 1 人当たりの購入額が低下することが裏付けられた。沖縄観光のリピーターが約 8 割を占める現在、こうしたリピーターのニーズに応える商品開発が求められる。

#### 30 代以降の女性向け商品の開発

土産品購入額が高いのは 30 代以降の女性である。特に 30 代女性は男女を含めた全体の平均購入金額 14,472 円より 4,699 円も高い約 19,171 円であり、60 代女性でも約 17,008 円となっている。こうしたことから、30 代以降の女性をターゲットにした商品開発は早急な課題だと言える。

#### 急増する海外観光客への対応

海外観光客の入域者数が急増している中、海外観光客の土産・買物ニーズと県内の現状がマッチしていないのは事実であろう。それは、海外客の旺盛な購買意欲に応える土産品等が少ないことと、物販施設における海外客への対応が遅れていることである。こうしたことから、早急な海外観光客への対策が求められている。

#### 土産品店等物販施設の魅力向上

観光客の「どの店も同じなので魅力に乏しい」という指摘と、土産品店等物販施設の課題である「魅力ある商品陳列」「個性的店舗づくり」は図らずも一致している。物販施設の魅力向上については、支援機関等の積極的な関わりが必要であろう。